２学年理科ガイダンスシラバス　教科担当　木村 景子・平谷　範士

１．理科を学ぶねらい

中学理科の目標は、「自然の事物・事象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象について理解を深め、科学的な考え方を養う。」ことにあります。観察・実験において予想することや理由を考えること、因果関係を考察すること、発表や討論することが重要です。

２．学習方法

〇授業では、目的をもって主体的に学習することが重要です。授業では、考えたり、発言したり、板書などをしっかりと記録することで学力が身についていきます。
〇家庭学習では、その日の授業の復習を重点的に行いましょう。早めに観察・実験の考察や問題などの課題をすることも大切です。授業プリント、問題シート、ワークなどを活用しましょう。特に重要語句を理解する・覚えることは非常に大切です。
〇反復学習を大切にして下さい。間違った問題を繰り返し解くようにするとよいです。

３．持ち物、忘れものなどについて

〇基本的な持ち物は、教科書とノートと資料集、ワーク、のりです。
〇観察・実験の考察や問題シート、ワークなどの課題を期限内に提出します。
〇教室移動もありますので、忘れものがないようにして下さい。

４．学習の評価内容と評価方法

〇「知識・技能」: 課題、実験観察レポート、小テスト、定期考査等
〇「思考・判断・表現」: 課題、実験観察レポート、小テスト、定期考査等
〇「主体的に取り組む態度」: 課題、実験観察レポート、ワーク、授業・Free!小テスト
・問題集への取り組み具合への取組み具合
※各観点については、上記の評価内容を数値化し総合的に評価をします。

５．先生からのアドバイス

〇観察・実験は目的意識をもって、考えることを大切にして下さい。
〇観察・実験は、絶対に指示に従います。決められたルールを必ず守ります。
〇考えたことを積極的に文章にし、発表します。友達の意見からも学びます。
〇板書や先生のポイントとなる言葉、友達の良かった発言などしっかり記録します。
〇課題はしっかり取り組み、提出物は期限までに必ず提出します。
〇その日の授業内容のうち、重要語句を覚えていきます。問題もどんどん解きます。
〇学習した内容を日常のことに関連させるよう意識すると応用がつきます。
〇日頃から科学的なニュースにも気をとめ、疑問や興味があるものはさらに調べます。

６．理科　年間学習計画
〔担当：木村・平谷〕

学期	月	単元名・学習内容	学習の目標	評価方法
1	4 5 6	２【生物のからだのつくりとはたらき】 1-生物と細胞 2-植物のつくりとはたらき 3-動物のつくりとはたらき 4-刺激と反応	細胞の観察を通して、細胞のつくりを理解し、顕微鏡観察などの基礎操作を身につける。 植物（葉）や動物のつくりとはたらきを、観察実験の結果を分析し解釈することを通じて理解する。 レポートの考察などで表現する力と筋道をたてて考える力を身につける。	・授業の参加の様子（準備、宿題、態度、発言、活動など） ・観察実験の意欲、態度、技能・表現 ・観察実験レポートの内容 ・ワークシートの取り組み ・定期考査、小テストなどの成果 ・問題プリント、ワークなどの取組･成果 ・課題の取組･成果
2	7 9 10	１【化学変化と原子・分子】 1-物質の成り立ち 2-物質どうしの化学変化 3-酸素がかかわる化学変化 4-化学変化と物質の質量	化学変化について進んで関わり、原子・分子のモデルと関連づけながら、観察実験の技能を習得し、観察実験の結果を分析して解釈し、化学変化について理解する。 化学変化における物質の変化や関係性を見いだし、表現する力を身につける。	
	11 12	３【天気とその変化】 1-気象の観測 2-雲のでき方と前線 3-大気の動きと日本の天気	気象要素、気象観測、雲の発生、前線と天気の変化、日本の天気について観察や資料の分析を通し、それらのしくみを理解し、科学的な見方や考え方を身につける。 自然に対する興味･関心を高め、気象現象が日常生活と関連していることを認識し、理科を学ぶことの意義と有用性を理解できる。	
3	1 2 3	４【電気の世界】 1-静電気と電流 2-電流の性質 3-電流と磁界	電流・磁界に関する事物･現象にかかわる観察実験を通して、静電気や回路と電流・電圧、電流と磁界、電流とエネルギーの規則性や関係性を理解する。	

※４月～９月に単元１、２を、１０月～３月に単元３、４をそれぞれ平行して進める。